



安城市の子ども・子育てに関する アンケート調査



日頃から安城市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では令和2年3月に「第2期安城市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て家庭への支援に取り組んできました。このたび、少子化社会対策、子ども・若者育成支援、子どもの貧困対策を含む「安城市こども計画」の策定に向け、総合的な見直しを進めております。

この調査は、無作為に選んだ【就学前児童保護者の方】に対し、子育て支援サービスに関する利用状況や今後の利用希望をはじめとした、ご要望・ご意見などをお伺いし、計画に反映することを目的に実施します。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年1月

安城市長 **三星 元人**

◆ご回答の前にお読みください。

1. このアンケートは、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 特にことわり書きのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
3. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きに従ってご回答ください。特にことわり書きのない場合は、次の設問にお進みください。
4. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**2月16日(金)までに**ポストにご投函ください。なお、調査票や封筒にお名前を書く必要はありません。
5. ご回答いただいた調査内容は、子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。統計的に処理し、その結果を市のホームページで公表いたします。

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

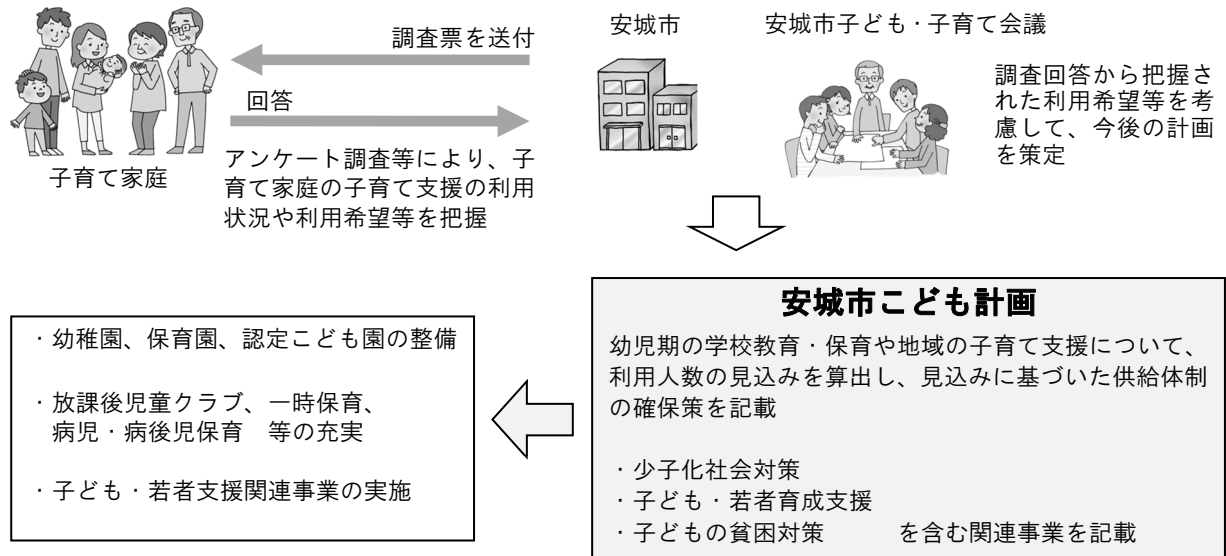
安城市 子育て健康部 子育て支援課

◆電 話：0566-71-2227

◆電子メール：shien@city.anjo.lg.jp



この調査の結果は、地域の子育て支援の充実に生かされます



（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

幼稚園	3～5歳児に対して幼児教育を行う施設 (学校教育法第22条)
保育園(認可保育所)	保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設 (児童福祉法第39条)
認定こども園	幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)



あて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします

問1 あて名のお子さんの①生年月、②兄弟姉妹の数についてご記入ください。

①生年月 (数字を記入)	西暦 年 月生まれ	②兄弟姉妹の数 (あて名のお子さんを含む)
		人

問2 お住まいの地区をお答えください。(○は1つ)

1. 安城南中学校区
2. 安城北中学校区
3. 明祥中学校区
4. 安城西中学校区
5. 桜井中学校区
6. 東山中学校区
7. 安祥中学校区
8. 篠目中学校区
9. わからない⇒ 町名：() 【例】安城町赤塚

問3 この調査票を回答する方は、あて名のお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

1. 父親
2. 母親
3. その他 ()

問4 あて名のお子さんの子育てを主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

1. 父母ともに
2. 主に父親
3. 主に母親
4. 主に祖父母
5. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

1. 配偶者がいる
2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんは祖父母と一緒に住んでいますか。

また、近所(様々な移動手段を使い15分以内程度に行き来できる範囲)に祖父母が住んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

1. 一緒に住んでいる祖父又は祖母がいる (同居)
2. 近所に住んでいる祖父又は祖母がいる (近居)
3. 祖父母と同居・近居をしていない
4. その他 (自由記述)

問7 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者又はパートナー
2. あて名のお子さんの祖父母
3. ご自身の兄弟姉妹や親戚
4. ご自身の友人や知人
5. 近所の人
6. 幼稚園や保育園等の職員
7. 行政機関の職員（保健センター、子育て支援センター、あんぱ〜く等）
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. SNS（X（旧 Twitter）、LINE、Instagram 等）
11. その他（自由記述 ）
12. 気軽に相談できる人はいない

問8 あて名のお子さんの子育てをする上で、特に悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの健康や発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 子どものアレルギーのこと
4. 子どもの性格や癖のこと
5. 子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）のこと
6. 幼稚園や保育園、学校等の環境や先生に関すること
7. 育児やしつけの方法がわからないこと
8. 子育てによる心身の疲れやストレスが大きいこと
9. 子育てにかかる費用（習い事や進学費用等）のこと
10. 社会から孤立するように感じる事
11. 自分の時間がもてないこと
12. 仕事と子育ての両立が難しいこと
13. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
14. 保護者会などの活動に関する事
15. 子育てに関しての話し相手や相談相手がいないこと
16. その他（自由記述 ）
17. 特に悩みや気になることはない



保護者の就労状況についてお伺いします

◆次の問9は、(1)母親と(2)父親に関する設問です。(1)(2)それぞれにお答えください。
ひとり親家庭の方は(1)(2)のどちらかにお答えください。
保護者の方がお子さんの祖父母や親戚の方である場合は問11にお進みください。

問9 あて名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。
また、パート・アルバイト等で働いている方は、今後の就労希望についてもお答えください。

※フルタイムとは、週5日程度で1日8時間程度の就労。パート・アルバイト等とは、フルタイム以外の就労です。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください。
※就労日数が一定でない場合は、最も多いパターンをご記入ください。

(1) 母親の現状 (1～5のいずれか1つに○)		就労状況や希望 時間は24時間制で記入(例17時台)	
1. フルタイムで働いている	就 労 状 況	①就労日数：	日／週
2. フルタイムだが、 現在産休・育休等の休業中		②平均就労時間(残業含む)：	時間／日
3. パート・アルバイト等で 働いている		③平均的な家を出る時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に 斜線 をお願いします)	平日： 時台 土日祝： 時台
4. パート・アルバイト等だが、 現在産休・育休等の休業中		④平均的な帰宅時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に 斜線 をお願いします)	平日： 時台 土日祝： 時台
		左の選択肢で「3.」「4.」を選択された方は⑤をお答えください	
		フル タイム へ の 希 望	⑤フルタイムへの転換希望：(7～Iのいずれか1つに○) ア フルタイム希望で実現できる見込みがある イ フルタイム希望だが実現見込みはない ウ パート・アルバイト等を継続希望 エ やめて子育てや家事に専念したい
5. 現在は仕事をしていない	今 後 の 就 労 意 向	①今後の就労意向：(7～ウのいずれか1つに○。選択肢のイを選んだ場合は、□に年齢をご記入ください。) ア 子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない) イ 1年より先、一番下の子が 歳になったところに就労したい ウ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ②希望する就労形態：(7～Iのいずれか1つに○。選択肢のイを選んだ場合は、□に日数と時間をご記入ください。) ア フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労) イ パート・アルバイト等 → 日／週・ 時間／日	

(2) 父親の現状 (1～5のいずれか1つに○)		就労状況や希望 時間は24時間制で記入(例17時台)		
1. フルタイムで働いている 2. フルタイムだが、 現在産休・育休等の休業中 3. パート・アルバイト等で 働いている 4. パート・アルバイト等だが、 現在産休・育休等の休業中	就労状況	①就労日数：	日／週	
		②平均就労時間（残業含む）：	時間／日	
		③平均的な家を出る時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に斜線  をお願いします)	平日： 時台 土日祝： 時台	
		④平均的な帰宅時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に斜線  をお願いします)	平日： 時台 土日祝： 時台	
		↓ 左の選択肢で「3.」「4.」を選択された方は⑤をお答えください		
5. 現在は仕事をしていない	フルタイムへの希望	⑤フルタイムへの転換希望：(7～Iのいずれか1つに○) ア フルタイム希望で実現できる見込みがある イ フルタイム希望だが実現見込みはない ウ パート・アルバイト等を継続希望 エ やめて子育てや家事に専念したい		
		今後の就労意向	①今後の就労意向：(7～ウのいずれか1つに○。選択肢のイを選んだ場合は、□に年齢をご記入ください。) ア 子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない） イ 1年より先、一番下の子が 歳になったころに就労したい ウ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	
			②希望する就労形態：(7～イのいずれか1つに○。選択肢のイを選んだ場合は、□に日数と時間をご記入ください。) ア フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労） イ パート・アルバイト等 → 日／週・ 時間／日	

問10 あて名のお子さんが生まれたときの産休・育休等の休業の取得期間について、母親・父親それぞれお答えください。

期間については、実際の取得期間と希望の取得期間をご記入ください。

	取得の有無	実際の取得期間	希望の取得期間
(1) 母親	1. 取得した →	() 歳	() 歳
	2. 取得していない	() か月まで	() か月まで
(2) 父親	1. 取得した →	() 歳	() 歳
	2. 取得していない	() か月まで	() か月まで



定期的な幼児教育・保育事業の利用状況についてお伺いします

※ここでいう「定期的な幼児教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している以下のような事業を指します。

- ・幼稚園または認定こども園幼稚園コース（通常の就園時間の利用）
- ・幼稚園または認定こども園幼稚園コースの預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ）
- ・保育園（認可保育所）または認定こども園保育園コース
- ・認可外保育施設
- ・ファミリー・サポート・センター（子育てを手助けしてほしい人（依頼会員））と「子育ての協力をしていただける人（提供会員）」が会員となって、お互いに助け合う会員組織）
- ・児童発達支援事業所（障害のある子どもに対して、個別や集団での療育を行う施設）

問11 あて名のお子さんは現在、「定期的な幼児教育・保育事業」を利用していますか。（○は1つ）

1. 利用している ⇒(P8)問11-2～問11-5、問12へ

2. 利用していない

問11で「2. 利用していない」と答えた方のみ

問11-1 利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢の8を選んだ場合は、（ ）に年齢をご記入ください。

1. 利用する必要がない
2. あて名のお子さんの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、幼児教育・保育事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所等、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他（自由記述 ）

⇒(P11)問13へ

問11で「1. 利用している」と答えた方のみ

問11-2 どのような幼児教育・保育事業を利用していますか。

年間を通じて「定期的に」利用している事業について、お答えください。

(あてはまるものすべてに○)

また、選択した事業で一番多く利用している事業の番号を記入し、現在の利用状況と希望する日数、時間をご記入ください。

1. 幼稚園または認定こども園幼稚園コース(通常就園時間の利用)
2. 幼稚園または認定こども園幼稚園コースの預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)
3. 保育園(認可保育所)または認定こども園保育園コース
4. 認可外保育施設
5. ファミリー・サポート・センター(子育てを手助けしてほしい人(依頼会員))と「子育ての協力をしていただける人(提供会員)」が会員となって、お互いに助け合う会員組織)
6. 児童発達支援事業所(障害のある子どもに対して、個別や集団での療育を行う施設)
7. その他(自由記述)

一番多く利用している事業	
--------------	--

↓

(1)現在の利用状況	(2)希 望
週 日・1日 時間	週 日・1日 時間
開始と終了を24時間制で記入 (時 ~ 時)	開始と終了を24時間制で記入 (時 ~ 時)

問11で「1. 利用している」と答えた方のみ

問11-3 問11-2で一番多く利用している事業の実施場所はどこにありますか。(○は1つ)

1. 住んでいる中学校区内
2. 「1.」以外の安城市内
3. 他の市町村(市町村名)
4. 中学校区はわからない(町名:)

問11で「1. 利用している」と答えた方のみ

問11-4 定期的にご利用している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定である／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族等を介護している
5. 子育てをしている方が病気や障害がある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（自由記述）

問11で「1. 利用している」と答えた方のみ

問11-5 利用している施設についての満足度・重要度はいかがですか。(満足度・重要度ごとにそれぞれ○は1つずつ)

	＜満足度＞					＜重要度＞				
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
1. 施設環境（園舎、園庭）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 保育士、教諭等の適正配置	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 実施行事（運動会、発表会等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 給食	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 利用料金	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 駐車場	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 預かり時間	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 保護者への対応・情報提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 安全面・健康面への配慮	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問12 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで幼稚園や保育園等を休んだことがありましたか。そのときの対処法等をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 両親のどちらかが仕事を休んだ
2. 親戚・知人（同居者を含む）に預けた
3. 働いていない保護者がみた
4. ベビーシッターを利用した
5. ファミリー・サポート・センターを利用した
6. 子どもだけで過ごさせた
7. 病児・病後児保育を利用した
8. その他（自由記述）
9. 病気やけがで幼稚園や保育園等を休んだことはなかった

問12-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育園等を休んだ際、「病児・病後児保育を利用したい」と思いましたか。また、それは何日くらいですか。
(〇は1つ)

病児・病後児保育

生後6か月から小学校3年生までの児童で、病気または病気の回復期にあつて集団保育が困難であり、保護者等が就労等の理由で家庭での保育が困難な場合に、連続7日間を限度に預かる事業です。利用には一定の利用料がかかります。

1. できれば利用したかった ⇒年間()日
2. 利用したいと思わなかった
3. 病児・病後児保育を知らなかった

問12-2 安城市の病児・病後児保育を利用したいと思わなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 事業の質に不安がある
3. 事業の利便性（立地や利用可能時間日数等）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用の仕方がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. 利用できる年齢ではなかった（生後6か月から）
8. その他（自由記述）



定期的に利用したい幼児教育・保育事業についてお伺いします

問13 現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの幼児教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園または認定こども園幼稚園コース(通常就園時間の利用)
2. 幼稚園または認定こども園幼稚園コースの預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)
3. 保育園(認可保育所)または認定こども園保育園コース
4. 認可外保育施設
5. ファミリー・サポート・センター(子育てを手助けしてほしい人(依頼会員))と「子育ての協力をしていただけの人(提供会員)」が会員となって、お互いに助け合う会員組織)
6. 児童発達支援事業所(障害のある子どもに対して、個別や集団での療育を行う施設)
7. その他(自由記述)
8. 利用希望なし

問13で「1.」または「2.」と答え、かつ「3.」～「7.」にも○をつけた方のみ

問13-1 特に幼稚園または認定こども園幼稚園コース(預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問14 あて名のお子さんの入園にあたって、どのような視点で幼稚園や保育園等を選びますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅に近いこと
2. 職場に近いこと
3. 送迎バス等、登降園の利便性が良いこと
4. 公立であること
5. 私立であること
6. 幼児教育・保育の方針や理念が良いこと
7. 施設等、幼児教育・保育環境が整っていること
8. 園開放等に参加した結果が好印象であること
9. 延長保育、休日保育があること
10. その他(自由記述)

「幼稚園」または認定こども園幼稚園コースに通園している方にお伺いします

問15 あて名のお子さんの夏休み・冬休み等、長期休暇期間中の幼稚園または認定こども園幼稚園コースの利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい理由と時間帯をお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1)利用希望 (○は1つ)	(2)利用したい理由 (あてはまるものすべてに○)	(3)利用したい時間帯 (開始と終了の時間を 24時間制で記入)
1. 利用する必要はない		
2. 休みの期間中、ほぼ毎日 利用したい	1. 保護者の仕事のため 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため 3. 親族の介護や手伝いをするため	(例:9時～17時)
3. 休みの期間中、週に数日 利用したい	4. 息抜きのため 5. その他()	時～ 時

アンケート調査は、もう少し続きます。

ご協力をお願いします。





子育て支援事業の利用についてお伺いします

◆安城市における子育て支援事業(親子が集まって過ごしたり、相談する場)

(参考)

安城市子育て支援総合拠点施設「あんぱ〜く」	子育て支援の充実を図るために、子育て支援センター、つどいの広場(あんぱ〜くほっとスペース)、ファミリー・サポート・センターを1か所に集約し、図書館機能も持たせ、平成23年1月に安城市大東町に開設した施設です。
つどいの広場	あんぱ〜くほっとスペース、北部ほっとスペース(北部福祉センター内)、ほのぼのひろば(昭林公民館内)、アンフォーレほっとスペースとして、乳幼児を持つ子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場所を提供しています。
子育て支援センター	あんぱ〜く・二本木保育園・あけぼの保育園・さくら保育園・和泉保育園の中にあり、子育て相談や乳幼児の親子が遊ぶことができます。
児童センター	北部公民館・作野公民館・桜井公民館・二本木公民館・中部公民館、総合福祉センター、西部福祉センター、安祥福祉センター、明祥プラザ内にあり、18歳未満の子どもが自由に遊ぶことができます。
ファミリー・サポート・センター	あんじょうファミリー・サポート・センターに登録している「子育てを手助けしてほしい人(依頼会員)」と「子育ての協力をさせていただける人(提供会員)」が会員となって、お互いに助け合う会員組織です。

すべての方にお伺いします

問16 あて名のお子さんは、現在、子育て支援事業(親子が集まって過ごしたり、相談する場)を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)
また、利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を()内にご記入ください。

- 安城市における子育て支援事業(あんぱ〜く、つどいの広場、子育て支援センター、児童センター、ファミリー・サポート・センター)
⇒ 1週あたり()回 または 1か月あたり()回程度
- その他安城市で実施している類似事業(赤ちゃんサロン、乳幼児学級、幼稚園や保育園等の園開放)
⇒ 1週あたり()回 または 1か月あたり()回程度
- 利用していない

問17 上記のような安城市における子育て支援事業(あんぱ〜く、つどいの広場、子育て支援センター、児童センター、ファミリー・サポート・センター)について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(○は1つ)
また、新たに利用したり利用日数を増やしたい場合は、おおよその利用回数(頻度)を()内にご記入ください。

- 利用していないが、今後利用したい
⇒ 1週あたり()回 または 1か月あたり()回程度
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
⇒ 1週あたり()回 または 1か月あたり()回程度
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

問18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。(A～Cのそれぞれ○は1つ)

	A		B		C	
	知っている		これまでに利用 したことがある		今後利用したい	
①保健センター(妊娠中から乳幼児期の相談・教室)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②あんステップ♪(発達相談、療育)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③公民館講座(家庭教育、乳幼児学級)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育センター(教育相談)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤幼稚園や保育園等の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥あんぱ〜く(子育てに関する相談)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦つどいの広場	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧子育て支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨児童センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑪児童遊園・ちびっこ広場	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑫産前・産後の家事・育児支援	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ



不定期の幼稚園・保育園等の利用や一時預かり等の利用についてお伺いします

問19 あて名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の仕事等の目的で、たまに利用している子育て支援事業はありますか。(あてはまるものすべてに○)
また、1年間の利用している日数も()内にご記入ください。

利用している事業 (○はいくつでも)	利用日数 (年間)
1. 一時保育 (私用等、理由を問わずに保育園等で一時的に子どもを保育する事業)	() 日
2. 幼稚園または認定こども園幼稚園コースの預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	() 日
3. ファミリー・サポート・センター	() 日
4. ベビーシッター	() 日
5. その他 (自由記述)	() 日
6. 利用していない	

問20 あて名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の仕事等の目的で、子育て支援事業を利用したいですか。
また、1年間の希望日数も()内にご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい (ア～エに○)

2. 利用する必要はない

利用したい目的 (あてはまるものすべてに○)	希望日数 (年間)
ア. 私用 (買い物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、リフレッシュ目的	() 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院等	() 日
ウ. 不定期的な仕事	() 日
エ. その他 (自由記述)	() 日

短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。

利用希望（あてはまるものすべてに○）		日数（年間）
1. 利用したい		計（ ）泊
ア. 冠婚葬祭		（ ）泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安		（ ）泊
ウ. 保護者や家族の病気		（ ）泊
エ. その他（ ）		（ ）泊
2. 利用する必要はない		



あて名のお子さんが5歳以上である方 小学校就学後の放課後の過ごし方についてお伺いします

問22 あて名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)
○をつけた項目の週あたりの日数も()内にご記入ください。

◆安城市における放課後児童クラブ(参考)

放課後児童クラブ	地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により、昼間家庭にいない場合等に、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、下記の利用料等がかかります。	
◆令和5年度		
	公立児童クラブ	民間児童クラブ
利用料	5,200円 (8月のみ8,600円)	6,000円~12,450円 (夏休み6,000円~27,300円)
おやつ代等	徴収なし(各自持参)	1,000円~3,500円

(参考)

放課後等デイサービス	就学している障害のある子どもに対し、放課後や学校の休校日に、生活能力向上のために必要な訓練や社会との交流の促進などの支援を行うサービスのことです。(有料)
------------	---

【小学校1年生から小学校3年生までの過ごし方】

(1)過ごさせたい場所 (あてはまるものすべてに○)	(2)利用希望日数 (数字を記入)
1. 自宅	週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週()日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、水泳、空手、学習塾等)	週()日くらい
4. 児童センター	週()日くらい
5. 放課後児童クラブ	週()日くらい
⇒小学校()年生まで利用したい	
6. 放課後等デイサービス	週()日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週()日くらい
8. その他(公園、外遊び等)	週()日くらい

【小学校4年生から小学校6年生までの過ごし方】

(1)過ごさせたい場所 (あてはまるものすべてに○)	(2)利用希望日数 (数字を記入)
1. 自宅	週 () 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 () 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、水泳、空手、学習塾等)	週 () 日くらい
4. 児童センター	週 () 日くらい
5. 放課後児童クラブ	週 () 日くらい
⇒小学校 () 年生まで利用したい	
6. 放課後等デイサービス	週 () 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 () 日くらい
8. その他 (公園、外遊び等)	週 () 日くらい



子育て全般についてお伺いします

問23 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に関する情報をどのように入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 親族(親・兄弟・姉妹等) | 2. 隣近所の人・友人・知人 |
| 3. 子育てサークルの仲間 | 4. 保育園・幼稚園・認定こども園・学校 |
| 5. 市役所や市の機関 | 6. 市の広報やパンフレット |
| 7. テレビ・ラジオ・新聞 | 8. 子育て雑誌・育児書 |
| 9. インターネット・SNS・アプリ(「あんぴよ」等) | |
| 10. コミュニティー誌 | 11. 情報の入手先がない |
| 12. 情報の入手手段がわからない | |
| 13. その他(自由記述 |) |

問24 あなたは子育てに関して、地域の人にどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつをしたり、声をかけたりしてほしい
2. 親子が参加するイベントなど多世代の交流に参加してほしい
3. 話し相手や相談相手になってほしい
4. 子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意をしてほしい
5. 用事があるときなどに、子どもを預かってほしい
6. 子育てに関してあまり干渉しないでほしい
7. その他(自由記述
8. わからない

問25 あなたは、安城市の子育て環境にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 非常に満足 | 2. 満足 |
| 3. やや満足 | 4. やや不満 |
| 5. 不満 | 6. 非常に不満 |
| 7. わからない | |

問26 あなたは、安城市において、「こどもまんなか社会」の実現に向かっていてと思いますか。
(○は1つ)

(参考)

こどもまんなか社会	常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を我が国社会の真ん中に据えることで、すべてのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会のことです。
-----------	---

1. 向かっていると思う
2. どちらかといえば向かっていると思う
3. どちらかといえば向かっていると思わない
4. 向かっていると思わない

問27 あなたは、安城市において、結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっていてと思いますか。(○は1つ)

1. 向かっていると思う
2. どちらかといえば向かっていると思う
3. どちらかといえば向かっていると思わない
4. 向かっていると思わない

問28 あなたは、子どもの世話や看病で頼れる人はいますか。(○は1つ)

1. いる
2. いない
3. そのことでは人に頼らない



「こどもの権利」についてお伺いします

問29 令和5年4月に、「こども基本法」が施行されました。あなたはこのことを知っていますか。
(○は1つ)

1. 内容まで詳しく知っている
2. 内容について少し知っている
3. 内容はわからないが聞いたことがある
4. 聞いたことがない

問30 あなたは、安城市において、こどもの権利が十分に尊重されていると思いますか。(○は1つ)

(参考)

こどもの権利	「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。
--------	--

1. とても尊重されていると思う
2. どちらかといえば尊重されていると思う
3. どちらかといえば尊重されていると思わない
4. まったく尊重されていると思わない
5. わからない

問31 あなたは、「こどもの権利」を守るために、どのような仕組みがあると良いと思いますか。
(○は3つまで)

1. 子どもに「こどもの権利」について学校等で教える
2. 市民に広く「こどもの権利」について周知する
3. 子どもが困ったことや大人に伝えたいことを、伝えるサポートをしてくれる人材を育成する
4. 子どもが困ったときに電話、SNS、メールなどで相談できる場をつくる
5. 子どもが困ったときに誰にも知られず相談できる場所を地域につくる
6. 子どもが国や社会に意見を伝える方法を学ぶ機会をつくる
7. 子ども議会など、行政に対して子どもが意見を言える仕組みをつくる
8. その他(自由記述)
9. わからない



「子どもの貧困」についてお伺いします

問32 あなたは「子どもの貧困」が社会的な問題となっていることを知っていますか。(○は1つ)

(参考)

子どもの貧困	生まれ育った環境によって、教育の機会が得られない子どもたちや健やかな成長に必要な衣食住が確保されていない子どもがいる問題のことです。
--------	--

1. 内容まで詳しく知っている
2. 内容について少し知っている
3. 内容はわからないが聞いたことがある
4. 聞いたことがない

問33 「子どもの貧困」に対して、どのような支援が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 衣食住などの生活・福祉の支援
2. 学校や学習習慣など教育の支援
3. 家庭での過ごし方や親子関係などの子育ての支援
4. 友人関係の構築やコミュニケーションへの支援
5. 家計や所得などに関する経済の支援
6. 居場所や見守りなどの地域の支援
7. 相談機関の周知
8. その他（自由記述）
9. わからない

最後に、幼児教育・保育環境の充実等、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

長時間、調査にご協力いただきまして大変ありがとうございました。この調査結果は、安城市こども計画策定のためのデータとして、有効に活用させていただきます。

切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れ、**2月16日(金)まで**に郵便ポストにご投函ください。

なお、調査票や封筒にお名前を書く必要はありません。